

外務委員会（０９０４２４）質問要旨

衆議院議員 武正公一

1, 谷内政府代表発言について（外務大臣、谷内政府代表）

2, プーチン首相訪日について（外務大臣）

3, アジア開発銀行総会について（外務大臣、財務省）

以上

# インタビュー 急接近

## 日米同盟、どう発展させますか



政府代表(前外務次官)  
谷内正太郎さん(65)

やち・しょうたろう 1969年、外務省入省。麻生太郎首相が外相当時の事務次官。「自由と繁栄の弧」構想でブレイン役を務めた。現在、政府代表、早稲田大客員教授。  
—尾籠章裕撮影

北朝鮮のミサイル発射は東アジアの安全保障にどんな影響を与えるでしょうか。

◆東アジアの平和と安全という観点から言うと、(カギを握る)中国は現状維持勢力だ。現状を変更しようとする大国はない。北朝鮮の核・ミサイル増強は「大国」の道を

◆オバマ政権は国際協調で対話を非常に重視している。米政権の外交指導部はこれから米朝の関係作りに入っていくのではないかと。プッシュ前政権は後半、北朝鮮に妥協しても成果を引き出そうとしたが、出すモノが多く、得るモノは少なかった。

◆日本は国際経済の分野で役割を果たせていますか。

# 地球市民の責任を果たせ

目指すことを意味するから、地域の不安定要因になる。日本を含めた大国がそういう事態を許さないよう、どう連携していけるか。6カ国協議は地道な努力をしてきたが、所期の成果は上げていない。不安定性を増し、対応をより難しくしている。

◆日米同盟の今後は。素を含んでいる。国際世界の中で両国が普遍的な価値を共に尊重し、多くの国に共有されるための国際的な対話・秩序作りをやっていくかなければならない。オバマ政権は武力行使に慎重だし、日本はより協力しやすくなる。外交は国益追求の場だが、日本の国益が国際公益と整合性を保つようにならないといけない。国際

も危うくなってきた。金融危機で麻生太郎首相は積極的な姿勢を示したが、世界貿易機関(WTO)多角的貿易交渉(ドーハ・ラウンド)で日本は役割を果たしていない。中核グループから外されている。米国が英国から意見を聞くのと同様に米国が日本に対してしているかといえば、そうじゃないと思う。責任ある大国として日本は認知されているかというところではな

い。その責任は日本にある。

◆ロシアのプーチン首相が5月来日します。北方領土問題の打開に向け方策はありますか。独自の「アプローチ」の真意は何ですか。

◆サハリンでの日露首脳会談では「新たな、独自の型にはまらないアプローチ」という考えを確認した。日本側が4島(歯舞、色丹、国後、択捉)、あるいは2島(歯舞、色丹)、ロシアが0というのでは両国民の納得できる結果は出てこないと思う。エネルギー、環境、北東シベリアの開発といった大きな戦略的構図を作り出し、その中で北方四島の問題を位置づけなければいけない。それが「型にはまらない」アプローチだ。返還後の北方四島は、非軍事的な地域にすることを日露間で合意するという案もあろう。

私は3・5島でもいいのではないかと考えている。北方四島を両国のつますきの石にしないという意思が大事だ。2島では全体の7%にすぎない。択捉島の面積がすごく大きく、面積を折半すると3島プラス択捉の20〜25%ぐらいになる。折半すると(3・5島は)実質は四島返還になるんですよ。

【中川佳昭】